

2011年度 第2回 全県研修会

とき 2012年2月4日（日）
ところ 倉吉シティホテル2F レニー

2月4日（土）倉吉市「倉吉シティホテル」で県労福協と中部支部の合同開催により「第2回全県研修会」を開催しました。

今回のテーマは、「協同労働とは何か・・課題と展望」と題して、中央労福協から大塚事務局長を招いての講演をいただき、90名近い参加者は、「協同労働」の意義と今日の動向について研修を行うことが出来ました。



講演では、共同所有、民主的管理など「協同組合」の基本原則と、日本既存の協同組合が個別法で定められており、総括的に定義する法律がないこと。2012年の国連「国際協同組合年」が、貧困の根絶、雇用の創出、社会の一体化に貢献する協同組合の発展を促すために設定された意義。出資、経営、労働を総てで共有する「協同労働による協同組合」が公益性、非営利、就労機会の創出などの社会的意義を持ち、法律制定運動もあることの紹介と、反面、偽装雇用や労働者保護上の課題、公務サービスの安上がり化など警戒を持って注視すべき点が紹介され、その認識を深めることとなりました。

研修会の最後に、労金米子支店の磯江次長から「労金の社会貢献活動」、全労済の中島部長から「防災保障点検活動」など、各事業団体の事業報告を行ない、半日の研修会を終りました。



全労済 中島部長



労金 磯江次長

